

# 「事業名：住民と学生の協働による「ロハスビレッジかつらお」復興まちづくり」 2019年度事業の概要

**日本大学 連携市町村：葛尾村**

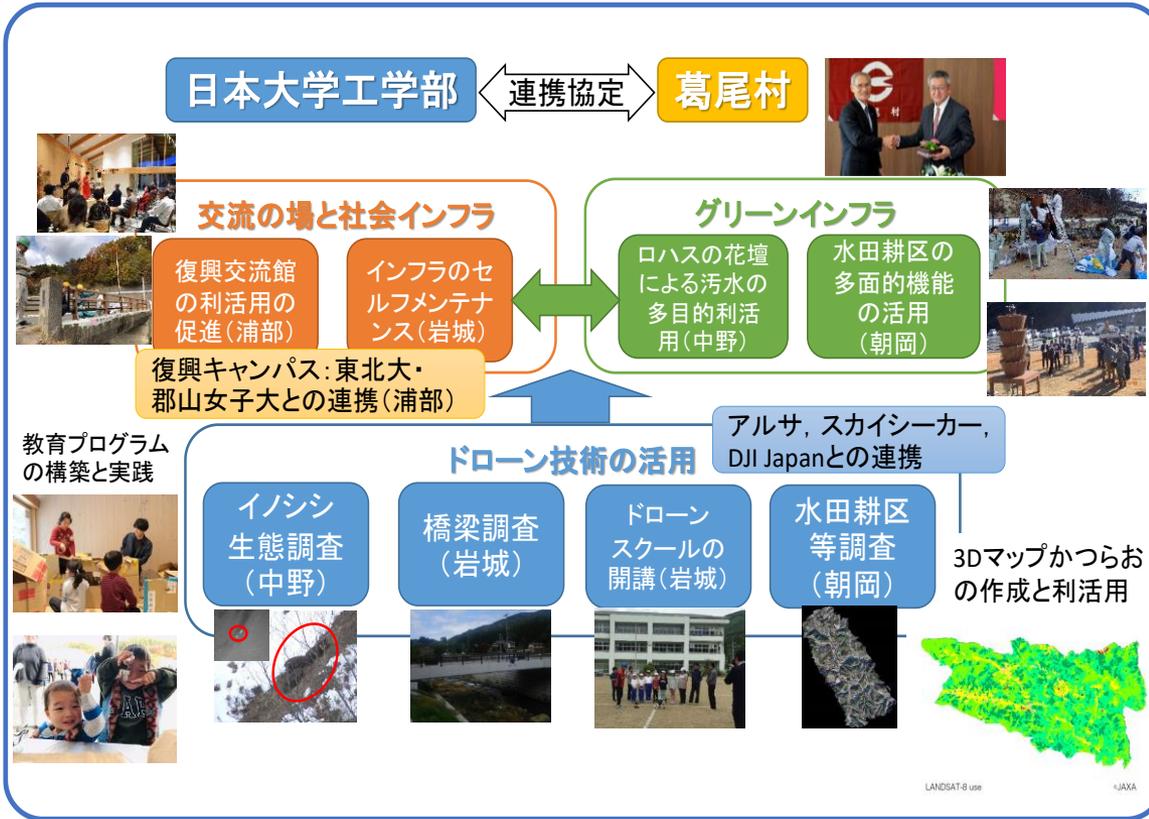
**現地拠点：葛尾村中学校(福島県双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又14-2)**

## 事業のポイント

日本大学工学部と葛尾村との協定に従い、本学が掲げる「ロハス工学」に基づき、住民と学生との協働による健全で持続可能なまちづくりを目指す。その内容は①交流の場と社会インフラ、②グリーンインフラ、③ドローン技術の活用からなり、これらの技術を統合した3Dマップかつらおと教育プログラムの構築、およびこれらの利活用を図る。

## 2019年度の活動内容

- 各種イベントを通じた復興交流館「あぜりあ」の利活用を促進を図る。
- 住民と学生との協働による村内橋梁の日常点検 & 予防保全、および道路の簡易点検・診断技術の構築を行う。
- 「ロハスの花壇」を活用した汚水の多目的利活用と本施設を活用した環境学習を行う。
- ドローン等による水田耕区の調査に基づき、多面的機能の活用方法を検討する。
- ドローン等によるイノシシの生態調査を実施し、人とイノシシの共生の視点から対策方法を検討する。
- ドローンスクールを開講することで、ドローンビレッジかつらおの定着を図る。



## 取り組みによって得られる成果

これらの成果を役場や村民と共有し、事業をさらに加速させるため、「3Dマップかつらお」の作成と利活用、村民・村内小中学生、日大生を対象とした教育プログラムの構築と実践を図ることにより、健全で持続可能な葛尾村、すなわち「ロハスビレッジかつらお」の復興まちづくりが期待される。